

平成25年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

会 議 資 料

平成25年4月22日（月）
三光荘2階アトリウムホール

平成25年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議 目 次

I 平成24年度の取組実績について

1	会議の開催	P 1
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	P 2
①	第7回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催	P 2
②	おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催	P 3
③	おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催	P 3
④	おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催	P 3
(2)	マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施	P 3
①	レジ袋無料配布中止（有料化）の協議	P 3
②	岡山県統一ノーレジ袋デーの取組	P 4
③	マイバッグ持参率等アンケート調査の実施	P 8
3	その他普及啓発事業	P 8

II 平成25年度の取組（案）について

1	会議の開催	P 9
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	P 10
①	第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催	P 10
②	おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催	P 11
③	おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催	P 11
④	おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催	P 12
(2)	マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施	P 13
①	岡山県統一ノーレジ袋デーの取組	P 13
②	レジ袋削減強化月間キャンペーンの実施	P 14
③	フェイスブック「ごみゼロ・プロジェクト」での情報発信	P 15
④	消費者団体を通じた県民意識の醸成	P 16
⑤	レジ袋無料配布中止（有料化）協議の継続	P 16
3	その他普及啓発事業	P 16

I 平成24年度の取組実績について

1 会議の開催

平成24年度ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 第1回ワーキング会議

ア 日 時 平成24年4月19日(木) 13:30~15:30
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成23年度の取組実績について
・平成24年度の取組(案)について

(2) 本会議

ア 日 時 平成24年4月26日(木) 13:00~15:00
イ 場 所 三光荘 2階 アトリウムホール
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成23年度の取組実績について
・平成24年度の取組(案)について

(3) 第1回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成24年4月26日(木) 15:00~17:00
イ 場 所 三光荘 2階 アトリウムホール
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局
エ 議 題 ・レジ袋削減検討会の現在までの経緯
・レジ袋無料配布中止(有料化)に向けた協議

(4) 第2回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成24年5月28日(月) 15:00~17:00
イ 場 所 三光荘 2階 アトリウムホール
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局
エ 議 題 ・レジ袋削減検討会の現在までの経緯
・レジ袋無料配布中止(有料化)に向けた協議

(5) 第3回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成24年6月26日(火) 15:00~17:00
イ 場 所 おかやま西川原プラザ 2階 大会議室A
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局
エ 議 題 ・レジ袋無料配布中止(有料化)に向けた協議

(6) 第4回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成24年7月30日(月) 13:30~15:30
イ 場 所 ピュアリティまきび 2階 千鳥の間
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局

エ 議 題 ・レジ袋無料配布中止（有料化）に向けた協議

(7) おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール審査選考会

ア 日 時 平成24年9月24日（月） 17:30～19:30

イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール

ウ 出席者 審査員2名

(8) おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成24年10月4日（木） 10:00～12:00

イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室

ウ 出席者 審査員4名

(9) おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成24年10月4日（木） 13:00～17:00

イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室

ウ 出席者 審査員4名

(10) 第2回ワーキング会議

ア 日 時 平成24年11月16日（金） 13:30～15:00

イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室

ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局

エ 議 題 ・レジ袋削減検討会の現在までの経緯
・平成25年度のレジ袋削減に関する取組（案）について

(11) 第5回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成25年1月22日（火） 13:30～15:30

イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール

ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局

エ 議 題 ・レジ袋削減検討会の現在までの経緯
・平成25年度のレジ袋削減に関する取組（案）について

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、平成18年度から実施している「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

①第7回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催

ア 日 時

平成24年11月11日（日） 10:00～17:00

イ 場 所

岡山コンベンションセンター 1階 イベントホール・ロビー

ウ 大会テーマ

はじめよう！一人ひとりの“もったいない”

エ 主 催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、(公財)岡山県環境保全事業団

オ プログラム

- (ア) オープニングセレモニー
 - ・主催者・来賓挨拶、バルーンシャワー
- (イ) 表彰式
 - ・環境おかやま大賞
 - ・おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール
 - ・おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト
 - ・おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト
- (ウ) トークショー
 - ・田中律子のエコ&フード 田中 律子（女優・タレント）
- (エ) キャラクターショー
 - ・それいけ！アンパンマンショー、撮影会

カ 展 示

- ・県の施策（マイバッグ運動、岡山県エコ製品、岡山エコ事業所）
- ・環境団体、地域団体、学校等の活動紹介
- ・ポスターコンクール、エコチャレンジコンテスト及び手作りマイバッグコンテストの入賞作品

②おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催

「もったいない」精神の普及や、3Rに対する意識の高揚などを図るため、県内の小学校に在学する全学年の児童を対象にポスター（絵画）を募集した。

- ア 応募数 64校、702作品
- イ 応募締切 平成24年9月10日（月）

③おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

夏休み期間中、小学生とその家族を対象として、家庭でできる3Rや地球温暖化防止の取組に一週間以上チャレンジしていただき、その成果を募集した。

- ア 応募数 17校、329点
- イ 応募締切 平成24年9月10日（月）

④おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催

「もったいない」精神の普及や、3Rに対する意識の高揚などを図るため、県内の小・中学校、高等学校等に在学する全学年の生徒児童、一般県民を対象に手作りマイバッグを募集した。

- ア 応募数 21校4市町、137点
- イ 応募締切 平成24年9月10日（月）

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

①レジ袋無料配布中止（有料化）の協議

レジ袋の無料配布中止（有料化）について、「レジ袋削減検討会」において検討を進め、4月の会議では、本年11月から実施することで合意されたが、その基本合意を前提として詳細な検討を進めていく中で、7月の会議において、11月実施を見送ることが決定された。

②岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンター等の事業者、消費者・環境団体、市町村と協働で、買物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開し、レジ袋削減に対する県民意識の向上を図る取組を実施した。

(参考) 参加店舗数及びレジ袋辞退率の推移

参加店舗数：1,407店舗(平成25年2月現在)

平均辞退率：27.2%(平成25年2月現在)

(単位：店舗、%)

月	開始	6か月			1年			1年6か月			2年			2年6か月		
	H22/6月	H22/12月	H23/6月	H23/12月	H24/4月	H24/5月	H24/6月	H24/7月	H24/8月	H24/9月	H24/10月	H24/11月	H24/12月	H25/1月	H25/2月	
参加店舗数	351	581	627	812	847	848	848	855	855	1,396	1,396	1,408	1,407	1,407	1,407	
平均辞退率	21.5	23.2	26.4	26.7	28.1	27.3	26.7	27.2	26.6	26.9	27.4	27.4	27.9	27.9	27.2	
業態別	スーパーマーケット	29.5	25.9	25.9	26.4	27.5	26.9	25.7	26.7	24.8	25.4	25.8	25.4	25.7	25.9	25.6
	ホームセンター	11.3	16.8	21.3	46.3	33.3	34.2	36.2	40.3	36.5	34.9	38.2	35.7	34.3	33.5	30.8
	ドラッグストア	4.7	5.0	5.4	4.9	6.7	6.9	5.6	5.5	6.0	6.3	6.8	7.5	7.1	7.3	7.1

ア 啓発資材の追加送付

事業者(店舗)に対し、既存の啓発資材(のぼり旗、ポスター、ステッカー、レジ袋辞退カード、セロテープ、CD)の追加送付を行った。

また、環境学習を始める小学4年生に缶バッジ(マグネットタイプ)を作成、配布した。

イ 新聞・雑誌等への広告掲載

山陽新聞

10月7日(8段モノクロ)

1月9日、2月8日、3月6日(題字下カラー)

2月8日(半5段カラー)

リビング岡山・リビング倉敷

1月7日号、2月2日号、3月2日号

タウン情報おかやま

2月号、3月号、4月号(1/2頁フルカラー)

LLIO

春号(3月10日発行)(1頁フルカラー)

Osera

陽春号(2月25日発行)(1頁フルカラー)

山陽新聞 10月7日



山陽新聞 2月8日(半5段カラー)



リビングおかやま、リビングくらしき
1月7日号、2月2日号、3月2日号



タウン情報おかやま2月号、3月号、4月号



LLIO春号、Osera陽春号



ウ 普及啓発強化月間

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村が主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、2周年に当たる6月10日の前後1週間程度、岡山駅前や県内各参加店舗の店頭等において、啓発用チラシ及びティッシュ、エコバッグ等を配付し、普及啓発活動を実施するとともに県及び各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

総社市での普及啓発活動の様子→



エ 新規参加店舗（事業者）募集

平成24年5月～6月、訪問及び電話等により、ノーレジ袋デーの参加を依頼したところ、大手コンビニが加盟する日本フランチャイズ協会やホームセンターなどの参加があった。

9エ-ン

オ マイバッグ撮影会の開催

タウン情報おかやまとの共同企画により、平成24年12月8日（土）、イオンモール倉敷において、マイバッグ撮影会を実施し、「タウン情報おかやま2月号」のエコ特集企画へ掲載した。



カ 雑誌への掲載

「おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト」の紹介や「マイバッグ撮影会」の様などを「タウン情報おかやま」のエココラム欄へ掲載した。

まかせてちょ～査回!!
eco編 VOL.3

私たちが eco 新メンバーです!

ちよ～査 依頼 **手作りマイバックのコンテストがあるって本当?**

エコ意識の高まりから、スーパーなどで買い物をする際、マイバックを持参している人も多いのではないのでしょうか。最近はおしゃれなバッグを販売しているお店も増えましたよね。今回エコ館に寄せられた情報によると、手作りマイバックのコンテストが開催されたとのこと。どんな作品が集まったのか、調査してきました。

平成24年度「おかやまもったいない」手作りマイバックコンテストは、岡山県環境文化創生推進型社会推進課が呼びかけた取り組みで、「もったいない」精神をもとに、手作りしたマイバックを募集。担当の大森さんは、「どの作品も、着に合わせたものも工夫して作ったものばかり。デザイン性はもちろん、機能性もきちんと考えて作った作品がたくさんありました」と笑顔。137作品の応募の中から選ばれた優秀作品は、11月11日由良岡山コンベンションセンターで行われる「第7回「おかやまもったいない」晴れの国フォーラム」で実物が展示され、表彰式も行われるそう。そのほか、11月19日㈫～25日㈯にアルネ津山、12月3日㈫～9日㈯にゆめタウン倉敷、12月19日㈫～24日㈯に天満屋地下1階アートスペースで優秀作品の写真パネルが展示される。

このコンテストは、毎年開催予定なので、来年はあなたも手作りマイバックを作ってみては?

小学生の部で最優秀賞を受賞した、児童5歳8人(中学2年)の作品。お父さんの着たバッグの生地を、洗わずにそのまま使ったお母さんのかばんの持ち手などを縫っておもしろに仕上げた作品。

岡山県環境文化創生推進型社会推進課
☎086-226-7306 岡山県北区内山下4-6

まかせてちょ～査回!!
eco編 VOL.4

私たちが eco メンバーです!

ちよ～査 依頼 **「マイバック撮影会」の様子を教えてください!**

皆さん、私たちエコ館も整理している今月号P●の「岡山のエコ特集」は見ただけでしたか? 冒頭でマイバックを持った皆さんが写っています。12月8日に「イオンモール倉敷WAKUWAKUガーデン」で実施したこの「マイバック撮影会」に、エコ館のメンバーも潜入してきました! この撮影会は、マイバック運動の普及のため、「岡山県」と「岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議」が主催し、一般公募で出演者を募集。持参してもらったマイバックを持って撮影に臨んでいただきました。当日はかなり風が強くて、一時的に雪もちらつくという悪天候でしたが、たくさんの方が集まってくれました。撮影会を実施することができました。本当にありがとうございます!

皆さんに持参していただいたマイバックですが、大きさや柄、使い勝手の良さや、持ち運びの便利さ、などなど...それぞれにこだわりのポイントがあって、バラエティにとんだバッグがた〜へくさん! プレゼントでもらったものや、お気に入りのバッグを購入してずっと使っている人もいましたが、中には自分で手作りされたという人もいてビックリ。撮影会後はマイバックを片手に買い物を楽しんだ方も多かったと思います。

まだマイバックを持っていない、という方は、ぜひP●で紹介しているおしゃれなマイバックをチェック! 自分のお気に入りの一点をぜひ見つけてください。また最近ではマイバック特設ポイントが付いたり引ききりしてくれるお店も多いため、みなさんもぜひ普段からマイバックを持ち歩いて、賢くおしゃれにエコライフをエンジョイしましょう!

スタッフ撮影に記念撮影。本日は寒かった〜お疲れ様です!

キ おかやま・もったいない晴れの国フォーラムでの普及啓発

おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの会場で、岡山県統一ノーレジ袋デーのポケットティッシュを配布し、出展者や来場者へ協力を呼びかけるなど普及啓発を行った。

もったいないフォーラムでの様子→
「レジ袋減らし隊」の皆さんも協力



ク ラジオなどの広報媒体での普及啓発

県政情報番組「ももっちうらっち晴れの国TV」やRSKラジオの「ごごラジViViッと!（「ViViッと!エコライフ」コーナー）」へ出演し、ノーレジ袋デーの紹介、マイバッグ持参の呼びかけを行った。

④マイバッグ持参率等アンケート調査の実施

マイバッグ持参率等を把握するため、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託し、平成25年2月下旬～3月上旬に、県内9店舗でマイバッグ持参率等アンケート調査を実施した。（別紙1 参照）

ア 調査数 合計2,700人（1店舗につき300人）

イ 調査方法 買物客への聞き取り調査

ウ 調査結果

ノーレジ袋デーの認知率	56.2%	（平成23年度：55.3%）
マイバッグ持参率	43.3%	（平成23年度：45.2%）
「レジ袋が有料になった場合、マイバッグを持っていく」と答えた人の割合	72.8%	（平成23年度：80.7%）
「有料化している店舗をどう思うか」		
賛成	32.9%	（平成23年度：33.0%）
仕方がない	59.7%	（平成23年度：59.4%）
合計	92.6%	（平成23年度：92.4%）

3 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達の促進等を図るため、岡山エコ事業所認定制度（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○認定件数（平成25年3月現在）	276事業所
・排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	54事業所
・再生品を使用する「一般事業所」	43事業所
・再生品等を販売する「小売店」	179事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○認定件数（平成25年3月現在）	409製品
○巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。	
・巡回エコ製品等普及展示会	
平成24年 6月10日	親子エコフェスタ（津山市）
平成24年 7月28日～29日	ライフパーク倉敷（倉敷市）
平成24年11月11日	岡山コンベンションセンター（岡山市）
・ミニ展示会（平成24年9月25日～28日 県庁県民室）	
・県のホームページへの掲載	
・新聞紙面（山陽新聞朝刊）による広報	
・普及啓発パンフレットの作成、配布	

Ⅱ 平成25年度の取組（案）について

1 会議の開催

(1) 第1回ワーキング会議

ア 日 時 平成25年4月15日（月） 13:30～15:30
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成24年度の取組実績について
・平成25年度の取組（案）について

(2) 全体会議

ア 日 時 平成25年4月22日（月） 13:30～15:30
イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成24年度の取組実績について
・平成25年度の取組（案）について

(3) 第1回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成25年7月下旬
イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール（予定）
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局
エ 議 題 ・レジ袋秋休みキャンペーンについて

(4) おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール審査選考会

ア 日 時 平成25年9月下旬
イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール（予定）
ウ 出席者 審査員2名

(5) おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成25年9月下旬
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室（予定）
ウ 出席者 審査員4名

(6) おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト審査会

ア 日 時 平成25年9月下旬
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室（予定）
ウ 出席者 審査員4名

(7) 第2回レジ袋削減検討会

ア 日 時 平成26年1月下旬
イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール（予定）
ウ 出席者 委員、スーパー事業者、市町村、県民局、事務局
エ 議 題 ・平成25年度の取組実績について
・平成26年度の取組（案）について

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

本県では、平成18年度から「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（「発生抑制（リデュース）」、「再使用（リユース）」、「再生利用（リサイクル）」）についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、平成25年度は次の取組を行う。

①第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催（別紙2 参照）

ア 目 的

「もったいない」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表等を通じて啓発するとともに、県の3R関連施策や環境団体、地域団体、学校等の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

イ 開催時期

平成25年10月26日（土） 10時～17時（時間は予定）

ウ 会 場

岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町）
1階イベントホール（595㎡）

エ 主 催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、（公財）岡山県環境保全事業団（予定）

オ 実施方法

企画コンペにより業者を決定し委託実施

カ 参加者

県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等

キ プログラム

(ア) 表彰式

- ・環境おかやま大賞
- ・おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール
- ・おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト
- ・おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト

(イ) 発表（受賞者代表）

- ・環境おかやま大賞、ポスター（絵画）コンクール、ファミリーエコチャレンジコンテスト、手作りマイバッグコンテスト受賞者による発表

(ウ) 講演・トークショーなど

- ・「もったいない」に造詣が深い人

ク 展 示

- ・県の施策（マイバッグ運動、岡山県エコ製品、岡山エコ事業所）
- ・環境団体、地域団体、学校等の活動紹介
- ・ポスターコンクール、ファミリーエコチャレンジコンテスト、手作りマイバッグコンテストの優秀作品

ケ 体験イベント

常設（自家発電自転車、手回し発電レースなど）

時間制（マイバッグ作り、廃油キャンドル作りなど）

②おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催

（別紙3 参照）

ア 目的

もったいない精神の普及、ごみの発生の抑制、減量化、リサイクルに対する意識の高揚、再生品の使用促進及びマイバッグの普及拡大を図るため、小学生を対象としたポスター（絵画）コンクールを実施する。

優秀作品については、おかやま・もったいない晴れの国フォーラムでの展示のほかに県内3箇所程度で展示会場を設ける。

イ 主催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

ウ 対象者

県内の小学校に在学する児童（全学年）

エ 応募内容

ごみの減量化など「もったいない」を推進するポスター（絵画）

1・2年生 絵画

3年生以上 ポスター（必ず呼びかけの言葉を入れる）

オ 募集方法

5月上旬頃、県内全小学校に募集案内を送付

カ 応募期限

平成25年9月9日（月）

キ 表彰

3部門（低学年の部、中学年の部、高学年の部）

・知事賞 各部門1名 計3名 表彰状・副賞（5千円相当）

・岡山県ごみゼロプロジェクト会長賞

各部門1名 計3名 表彰状・副賞（3千円相当）

・環境文化部長賞 各部門3名 計9名 表彰状・副賞（3千円相当）

・優秀賞 各部門5名 計15名 表彰状・副賞（2千円相当）

・参加賞 応募者全員

ク 選考方法

小学校教諭による審査の上、決定

ケ 表彰式

おかやま・もったいない晴れの国フォーラムにおいて行う。

③おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

（別紙4 参照）

ア 目的

県内の小学生とその家族に、エコな生活について一緒に考えながら家庭内でごみの減量化などに取り組んでもらうことにより、家族全員に「もったいない」に関心を持つ契機としていただく。

また、取組結果は、ごみの減量をはじめとする「もったいない」の普及啓発に広く活用する。

イ 主催

岡山県

ウ 後 援

岡山県教育委員会、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団

エ 対 象 者

県内に住んでいる小学生とその家族

オ 募 集 方 法

5月上旬頃、県内全小学校に募集案内を送付

カ 応 募 期 限

平成25年9月9日（月）

キ 取 組 内 容

夏休み期間中の1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。

(A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組

(B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

ク 応 募 方 法

取組結果を報告用紙に記入の上、提出

ケ 表 彰 方 法

(個人の部)

- ・最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）
- ・優 秀 賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）
- ・努 力 賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）
- ・参 加 賞 応募者全員

(団体の部)

- ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞（1万円相当）
- ・優 秀 賞 若 干 表彰状・副賞（5千円相当）

コ 選 考 方 法

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において、審査の上、決定

サ 表 彰 式

おかやま・もったいない晴れの国フォーラムにおいて行う。

④おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催（別紙5 参照）

ア 目 的

もったいない精神の普及、リサイクルに対する意識の高揚、再生品の使用促進及びマイバッグの普及拡大を図るため、県内の小・中学生及び高校生、一般県民を対象に、手作りマイバッグコンテストを開催する。

優秀作品については、おかやま・もったいない晴れの国フォーラムでの展示のほかに県内3箇所程度で展示会場を設ける。

イ 主 催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

ウ 対 象 者

県内の小・中学生及び高校生、一般県民

エ 応募内容

不要品を使用するなど、「もったいない」精神を元に手作りしたマイバッグ作品

小・中学生の部：県内に住んでいる小中学生

高校生・一般の部：県内に住んでいる高校生及び一般県民

オ 募集方法

5月上旬頃、県内全小・中学校、高校に募集案内を送付するとともに県HPへの掲載、公共施設等へ掲示を行う。

カ 応募期限

平成25年9月9日（月）

キ 表彰

2部門（小・中学生の部、高校・一般の部）

・最優秀賞 1名 表彰状・副賞

・優秀賞 5名 表彰状・副賞

・努力賞 10名 表彰状・副賞

・参加賞 応募者全員

ク 選考方法

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において、審査の上、決定

ケ 表彰式

おかやま・もったいない晴れの国フォーラムにおいて行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

①岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンター等の事業者、消費者・環境団体、市町村と協働で、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開し、レジ袋削減に対する県民意識の向上を図る取組を実施する。

ア 県主催イベント等での広報

県主催イベント等や、新聞・テレビ・ラジオ・ホームページ等、様々な広報媒体を活用して、積極的な広報を実施する。

(ア) びっちゅう環境フェア

開催日：平成25年6月8日（土）

会場：まなび広場にいみ

(イ) 親子エコフェスタ2013

開催日：平成25年6月16日（日）

会場：アルネ津山周辺

(ウ) リサイクルフェア in くらしき

開催日：平成25年10月6日（土）

会場：クルクルセンター

(エ) おかやま・もったいない晴れの国フォーラム

開催日：平成25年10月26日（土）

会場：岡山コンベンションセンター

イ 広報紙による広報依頼

6月を普及啓発活動（PR）強化月間として、県・市町村の広報紙等で普及啓発を行う。

ウ 新聞への広告掲載

6月9日（日）の山陽新聞朝刊に全8段モノクロの新聞広告を掲載する。

エ 啓発グッズの作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー）をリニューアルし、希望する事業者（店舗）に送付を行う。また、環境学習に取り組む小学校4年生の児童（県内約2万人）に缶バッジ（マグネットタイプ）を配布し、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらう。



②レジ袋削減強化月間キャンペーンの実施

6月を普及啓発（PR）強化月間として、事業者、消費者・環境団体、市町村と協働して普及啓発に努めるとともに、11月も「レジ袋秋休みキャンペーン」を実施し、自動的なレジ袋の配布をやめ、マイバッグ持参の声かけを中心にレジ袋削減の促進に集中的に取り組む。

ア 普及啓発活動（PR）強化月間

(7) 目的

平成22年6月から開始した「岡山県統一ノーレジ袋デー」が3周年の節目を迎えることから、特に6月を普及啓発活動（PR）強化月間として、県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭での普及啓発活動（PR）を実施する。

(イ) 期 間

平成25年6月10日の前後1週間程度

(ウ) 内 容

街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭などで、チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。

<事業者（店舗）>

行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供

<消費者・環境団体等>

行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力

<行政>

- ・広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
- ・PRを行う場所の選定及び調整
- ・街頭や店頭等での普及啓発活動（PR）
- ・消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
- ・普及啓発活動（PR）のプレス発表
- ・啓発グッズの作成（一定数は県で作成し、市町村へ配付）

イ レジ袋秋休みキャンペーン

(ア) 目 的

買い物客へのレジ袋の自動的な配布をやめることで、レジ袋を削減し、家庭ごみを減らすとともに、県民に環境に配慮した行動（買い物）を実践してもらう。

(イ) 期 間

11月

(ウ) 内 容

<買い物客>

マイバッグを持参し、必要な場合のみレジ袋を配布してもらう。

<賛同事業者>

基本的にレジ袋を配布せず、買い物客から申し出があれば配布する。

<消費者・環境団体等>

事業者の取組を支援し、店頭で啓発活動を実施する。

<行政>

- ・混乱を招かぬよう事前広報を実施する。 ※上記ア(ウ)<行政>同様
(例：プレス発表、広報紙への掲載、新聞広告、会議やイベントでの広報)
- ・事業者の取組及び消費者・環境団体等が実施する啓発活動を支援する。

③フェイスブック「ごみゼロ・プロジェクト」での情報発信

循環型社会推進課が実施するイベント情報やおかやま・もったいない運動に関する各種コンテストの募集、レジ袋削減検討会で検討したレジ袋削減の取組など、環境に関連する情報をフェイスブックにより発信し、廃棄物の3Rの周知や、県民協力の下、県民総ぐるみでの推進に寄与することを目的に運営する。

さらに今後、フェイスブックのサイトで頻繁に情報発信することで、より多くの県民にレジ袋削減への理解を深めてもらうとともに、県民の環境への意識の醸成を図る。

ごみゼロ・プロジェクト→



④消費者団体を通じた県民意識の醸成

消費者団体においては、これまでもマイバッグ運動等に取り組んでいただいているが、レジ袋辞退について、各団体の支部等も含め構成員のさらなる理解、協力が得られるよう、次の要請を行う。

なお、要請に際しては、支部総会等においてレジ袋削減の出前講座を実施するなど、効果的な方法を検討する。

- 要請の例：
- ・支部等の活動内容に、レジ袋辞退の率先行動を明記
 - ・支部総会等において、レジ袋辞退の率先行動を決議、宣言 など

⑤レジ袋無料配布中止（有料化）協議の継続

岡山県統一ノーレジ袋デーやレジ袋秋休みキャンペーン等の普及啓発やフェイスブックでの情報発信などにより消費者の意識を高めるとともに、レジ袋削減に積極的に取り組む事業者への理解を深めながら、引き続きレジ袋削減検討会において全県的なレジ袋無料配布中止の実現に向けた協議を進める。

3 その他普及啓発事業

岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。

平成24年度
岡山県マイバッグ持参率等アンケート調査
報告書

2013年3月

目次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	2
2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日	2
3. 調査方法	2
4. 調査実施機関	2
5. 注意事項	2
II 設問別の結果	
1. 年代	3
2. 性別	3
3. 居住地	4
4. 岡山県統一ノーレジ袋デー	5
5. マイバッグの所持	5
6. マイバッグ持参回数	6
7. お店がレジ袋を有料にした場合	6
8. レジ袋を有料にした場合の価格	7
9. レジ袋有料店舗	8
10. マイバッグを持参する人を増やすには	8
III. 調査票	10

I 調査の概要

1. 調査の目的

岡山県内のマイバッグの持参率等を把握し、レジ袋の削減に係る施策の基礎資料とする。

2. アンケート調査実施店舗名・アンケート集計数・アンケート調査日

アンケート調査実施店舗名	集計数	調査日
チョッパーズ新福店	300	2月12日
業務用食品スーパー新倉敷店	300	2月13日
フレスタ新見店	300	2月14日
マルイノースランド店	300	2月15日
ニシナ笠岡店	300	2月19日
フレスタ津島店	300	2月21日
ハッピーマート勝央店	300	2月22日
ハピッシュ山陽店	300	2月26日
マルイ勝山店	300	3月5日
合計	2,700	

3. 調査方法

岡山県内 9 店舗の店内にて、来店者に対するヒアリング及び回答者によるアンケート用紙への直接記入(無記名)。

4. 調査実施機関

株式会社 東京商エリサーチ 岡山支店

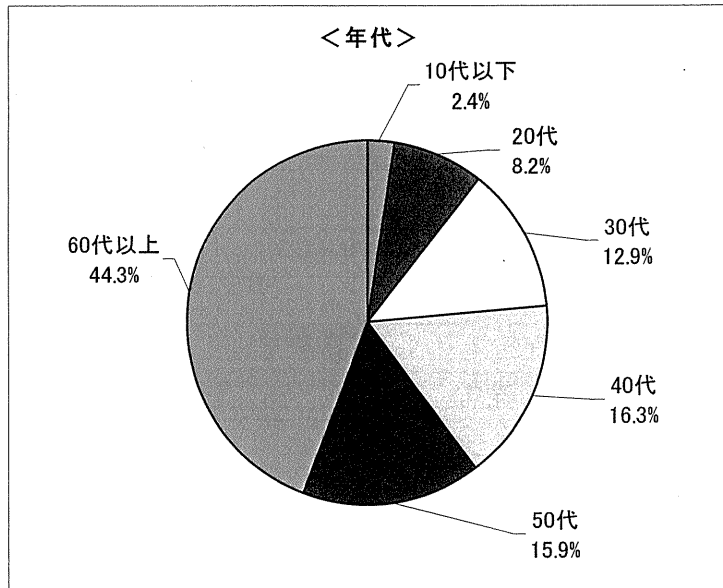
5. 注意事項

- ・アンケートにいずれか回答があったものは有効回答とする。
- ・表中の構成比率は小数点第3位以下を四捨五入し小数点第2位表記とし、図(グラフ)の構成比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位表記とする。
- ・6と8の集計表の上段は件数、下段は回答件数の合計に対する割合(%)とする。
- ・「回答拒否」「記入なし」は「無回答」として処理している。
- ・「1つのみに○」の質問に複数回答があった場合は「無効」として処理している。

Ⅱ 設問別の結果

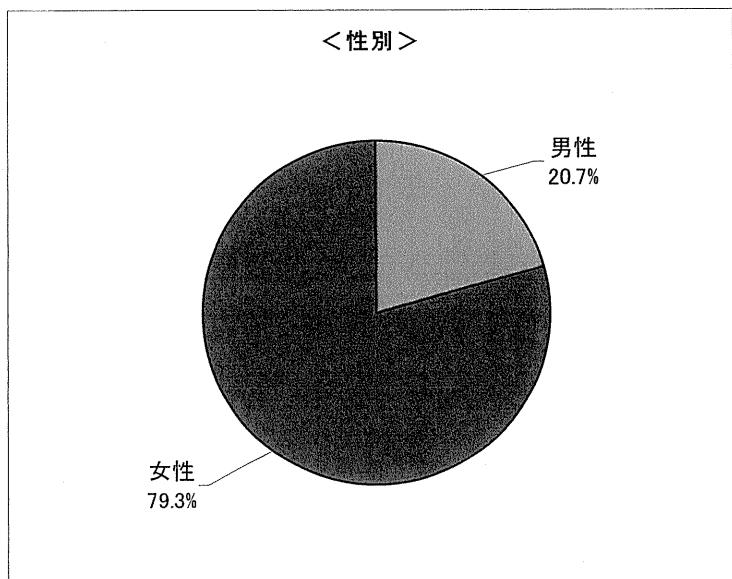
1 年代

区分	件数	構成比
①10代以下	66	2.43%
②20代	221	8.19%
③30代	349	12.93%
④40代	440	16.30%
⑤50代	428	15.85%
⑥60代以上	1,196	44.30%
無回答	0	0.00%
合計	2,700	100.00%



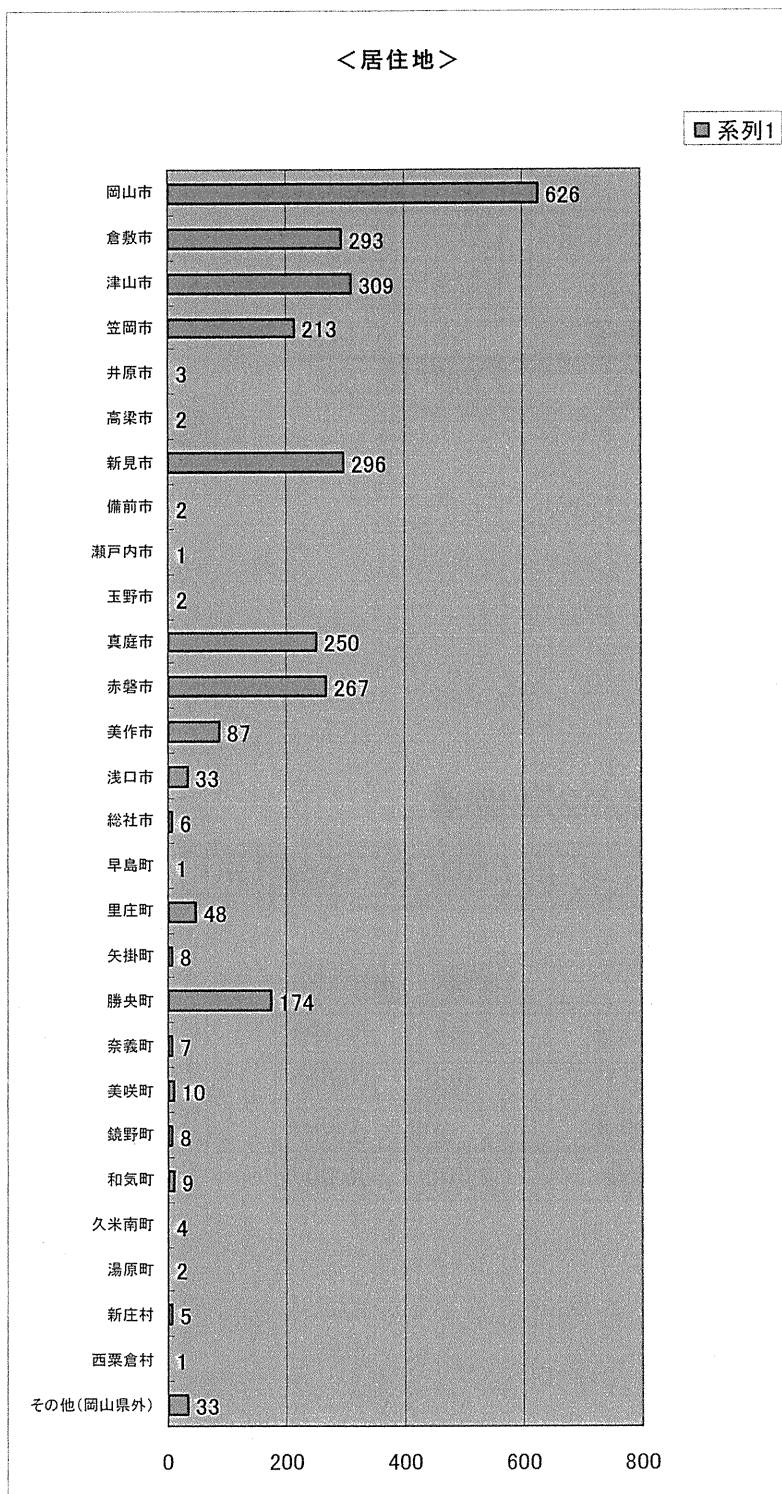
2 性別

区分	件数	構成比
①男性	560	20.74%
②女性	2,140	79.26%
無回答	0	0.00%
合計	2,700	100.00%



3 居住地

市町村名	件数	構成比
岡山市	626	23.20%
倉敷市	293	10.85%
津山市	309	11.44%
笠岡市	213	7.89%
井原市	3	0.11%
高梁市	2	0.07%
新見市	296	10.96%
備前市	2	0.07%
瀬戸内市	1	0.04%
玉野市	2	0.07%
真庭市	250	9.26%
赤磐市	267	9.89%
美作市	87	3.22%
浅口市	33	1.22%
総社市	6	0.22%
早島町	1	0.04%
里庄町	48	1.78%
矢掛町	8	0.30%
勝央町	174	6.44%
奈義町	7	0.26%
美咲町	10	0.37%
鏡野町	8	0.30%
和気町	9	0.33%
久米南町	4	0.15%
湯原町	2	0.07%
新庄村	5	0.19%
西粟倉村	1	0.04%
その他(岡山県外)	33	1.22%
無回答	0	0.00%
合計	2,700	100.00%

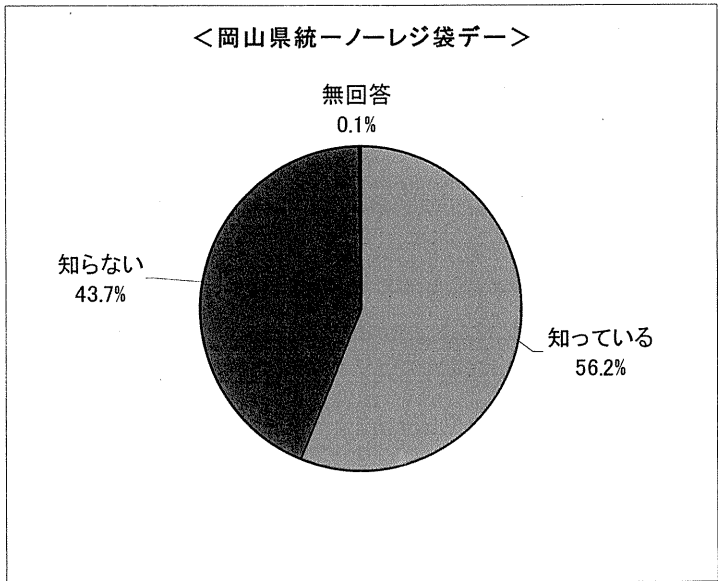


(その他岡山県外) = 福山市 6、大阪府 4、大阪市 3、倉吉市、神戸市、庄原市、鳥取市、兵庫県各 2、茨木市、
 牧方市、長浜市、奈良市、成田市、東大阪市、姫路市、広島市、福岡市、米子市各 1 件。

4 岡山県統一ノーレジ袋デー

Q あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー(毎月10日)」のことを知っていますか？(1つのみに○)

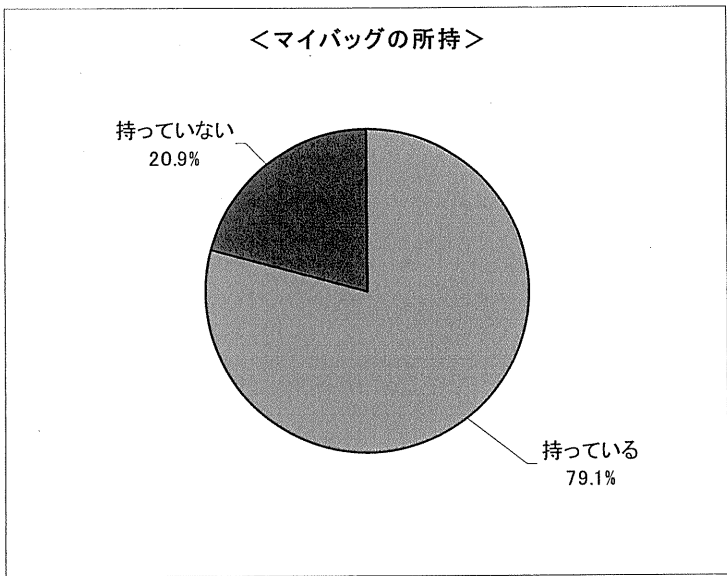
	件数	構成比
①知っている	1,517	56.19%
②知らない	1,179	43.67%
無回答	4	0.14%
合計	2,700	100.00%



5 マイバッグの所持

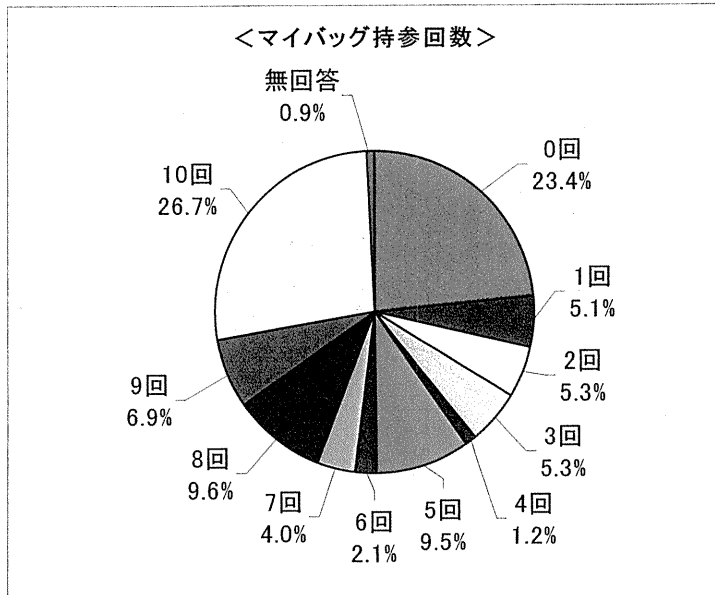
Q あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋(マイバッグ)やふろしきをお持ちですか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①持っている	2,137	79.15%
②持っていない	563	20.85%
無回答	0	0.00%
合計	2,700	100.00%



6 マイバッグ持参回数

Q あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？（買い物10回のうち、マイバッグを持っていく回数）

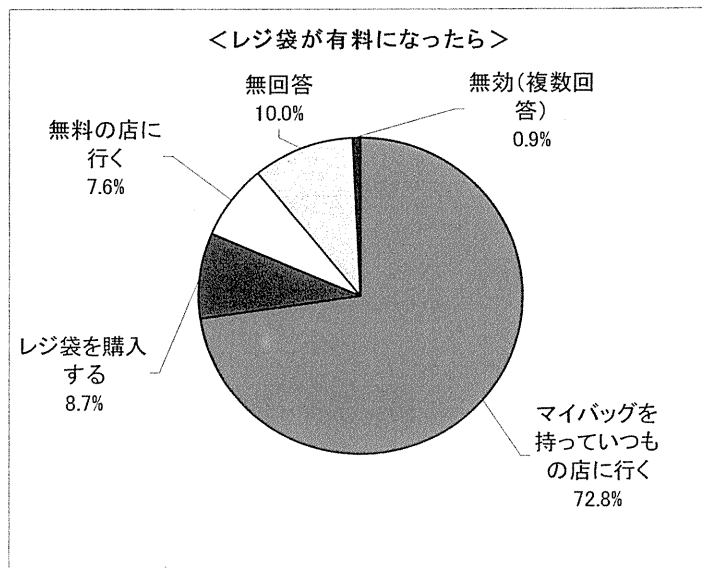


	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	無回答	合計
件数	632	137	142	144	32	257	57	107	258	185	726	23	2,700
構成比%	23.41	5.07	5.26	5.33	1.19	9.52	2.11	3.96	9.56	6.85	26.89	0.85	100.00

7 お店がレジ袋を有料にした場合

Q あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料化したらどうしますか。（1つのみに○）

	件数	構成比
①マイバッグを持っていつもの店に行く	1,966	72.81%
②レジ袋を購入する	234	8.67%
③無料の店に行く	205	7.59%
無回答	270	10.00%
無効(複数回答)	25	0.93%
合計	2,700	100.00%

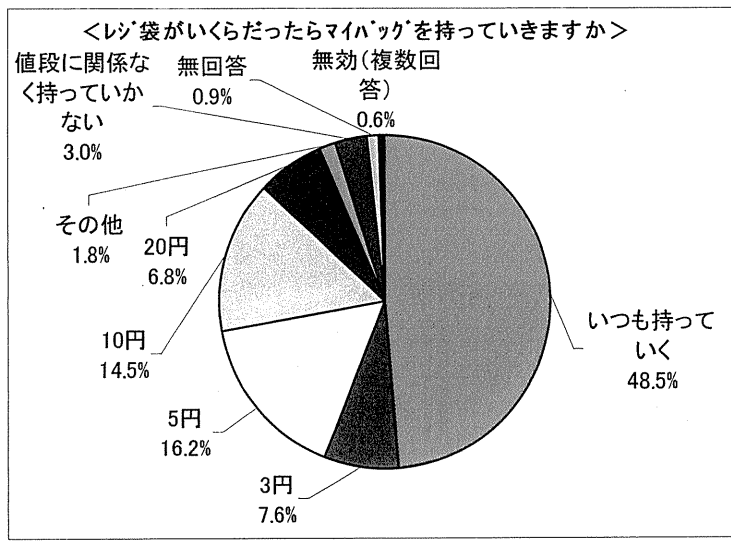


無効(複数回答)

①②7件、①③15件、②③3件

8 レジ袋を有料にした場合の価格

Q あなたは、レジ袋が有料になった場合、一番大きいレジ袋が1枚あたりいくらだと、マイバッグを持って買い物に行くようになりますか？(1つのみに○)



	①いつも持っていく	②3円	③5円	④10円	⑤20円	⑥その他	⑦値段に関係なく持っていく	無回答	無効	合計
件数	1,310	205	438	391	184	48	82	25	17	2,700
構成比	48.52%	7.59%	16.22%	14.48%	6.81%	1.78%	3.04%	0.93%	0.63%	100.00%

<その他>

<ul style="list-style-type: none"> ● 0円(2件) ● 1円(2件) ● 2円(4件) ● 10円(1件) ● 15円(1件) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 30円(3件) ● 50円(10件) ● 100円(12件) ● 200円(1件) ● ?円(5件) ● 無記入(13件)
--	--

* 無効(複数回答)

①② 3件

①③ 7件

①②③、①⑤、①⑦、②③、③⑦、④⑤、⑥⑦ 各1件

?円 5件

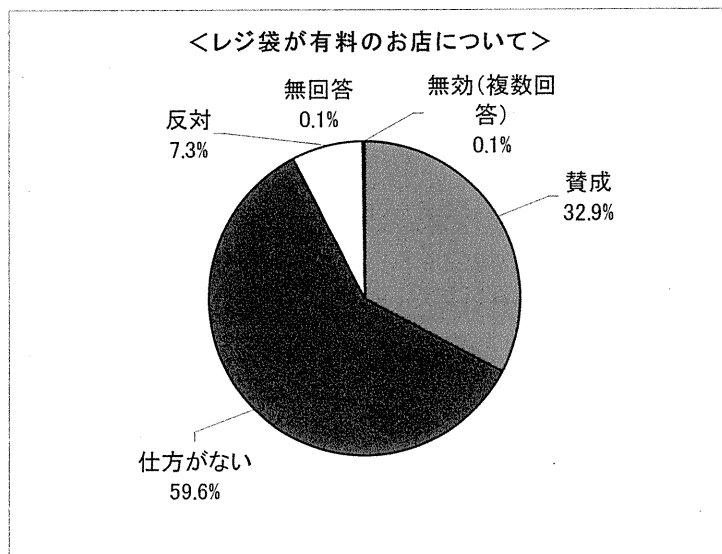
9 レジ袋有料店舗

Q すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①賛成	887	32.85%
②仕方がない	1,612	59.71%
③反対	197	7.30%
無回答	2	0.07%
無効	2	0.07%
合計	2,700	100.00%

無効(複数回答)

①②、②③ 各1件



10 マイバッグを持参する人を増やすには

Q 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよいと思いますか？(1つのみに○)

	件数	構成比
①ポイントをつける	1,211	44.86%
②値引きをする	676	25.04%
③レジ袋を有料にする	677	25.07%
④その他	87	3.22%
無回答	12	0.44%
無効	37	1.37%
合計	2,700	100.00%

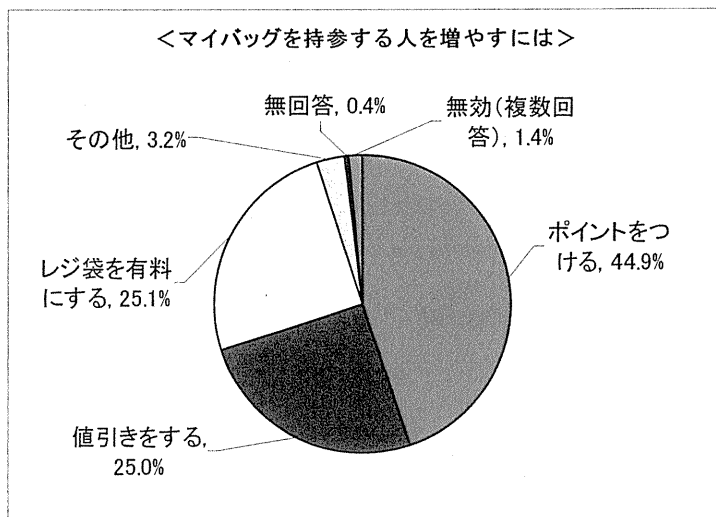
無効(複数回答)

①② 24件

①③ 7件

②③ 2件

①②③、①②④、①④、③④ 各1件



④その他(ほぼ原文)

- ・人それぞれで、別にどうすればいいなんて思わない。
- ・県の広報等で広く県民に知らしめる。
- ・岡山市のゴミ有料化と同じようにする。
- ・親の介護をしているのでオムツ等、レジ袋を利用。マイバックは持っているが…
- ・わからない。(8件)
- ・高くする(袋代)。
- ・関係ない。品揃え、サービスのいい店を選ぶ。
- ・車にマイバックを置いておく。
- ・もっと宣伝する。
- ・レジ袋を有料にする意味がない。〇〇券として、市のゴミ袋の補助券とかレジクーポンを付ける。
- ・一斉同時スタートにして有料にする。
- ・ゴミ出しに使えるし、今のままで良いと思う。
- ・ETCみたいにレーンでわかる。(マイバックの人レーン)(レジ袋の人レーン)。
- ・私の場合ごみを出す時に必要なので。
- ・万引きと疑われないような仕組みがいる。
- ・自覚が一番。
- ・マイバックがすぐ壊れるので素材の強い物があると良いと思う(大きいもの、重いものの買い物が多いため)。
- ・意識の問題と思うので、①～③ではあまり効果がないように思う。③はよほど高くなければですがあまり値上げするのどうかと…。
- ・ゴミの減量化に賛成です。
- ・店にレジ袋を置かない様にする。有料も方法だと思いますが、お金を払えばもらえるので…。
- ・店の対応。
- ・ゴミ袋に使用する。
- ・むずかしい問題なので答えにくいです。
- ・公的に宣伝すべきだと思う。
- ・レジ袋も生活に使って捨てている訳ではないのでなくなると少し困る。
- ・サッカー台に置かない。出さない。
- ・一市民としての自主的な意識改革。
- ・広めていく。(プレゼント)
- ・レジ袋は無しにする。
- ・ポイントを倍つける。
- ・レジ袋を高額にする。
- ・好きにやってくれればいい。
- ・おかない。
- ・啓蒙する。宣伝する。店も市も。
- ・マイバックを渡す。
- ・ゴミ捨てる為にレジ袋を活用するので、ゴミ捨てる用に便利な良い袋があれば増えると思う。
- ・マイバックを忘れる事が多いのでよく行くお店に置けるようにする。
- ・レジ袋が必要な時もあります。
- ・店内でカワイイマイバックを販売する。
- ・STSの対応による(カメラ、タイムラップ≠NG、≠フルタイム、リアルタイム、メモリーRECなど)。
- ・リサイクルBOXを設置する。マイバックに入れてトレイ等持参すれば、リサイクル、マイバック両方生かせると思う。
- ・生ゴミを入れるのにレジ袋は必要、なくなると困るという点もある。
- ・コマーシャル等マイバックの意義を伝える。
- ・地球環境の為に理解がいさされるようにPRが少し必要であると思います。
- ・プラゴミを出す時にレジ袋が欲しいのでレジ袋が無料の所ではマイバックは使わない。
- ・関係なく皆、持参すればよい。
- ・意識改革(3件)。
- ・関係ない。
- ・持って行く習慣をつける。
- ・人それぞれの考えだからわからない。
- ・エコの意識を上げる。
- ・教育する。
- ・当然のこと。
- ・こまめに持って行く(マイバック)。
- ・自己責任で環境を守る。
- ・自分で持って行く。
- ・自分のマイバックを持って行く。
- ・ゴミ袋用の袋がないと困るので毎回は難しいです。
- ・本人の気持ち次第。
- ・ゴミ袋を使用している。
- ・レジ袋よりも商品包装の方がムダ。
- ・大阪の方ではポイントとスタンプの店が多い。
- ・レジ袋の再利用を考えてほしい。
- ・本人次第。
- ・店が決めればいい。
- ・もっと知ってもらえる様に。
- ・私も店に勤めていますがレジ袋がすごくかかるので何とか有料にしたいと思うのですがなかなか出来ないところです。ぜひ有料にしてほしい(市か県)が強く。

アンケート



- Q1 あなたはどの年代ですか？（1つのみに○）
①10代以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上
- Q2 あなたの性別を教えてください。（1つのみに○）
①男性 ②女性
- Q3 あなたのお住まいの市町村を教えてください。
_____ 市・町・村
- Q4 あなたは、平成22年6月から始まった「岡山県統一ノーレジ袋デー（毎月10日）」の
ことを知っていますか？（1つのみに○）
①知っている ②知らない
- Q5 あなたは、買った商品を入れて持ち帰る袋（マイバッグ）やふろしきをお持ちですか？
（1つのみに○）
①持っている（Q6へ） ②持っていない（Q7へ）
- Q6 あなたは、買い物のときに、どのくらいの回数マイバッグを持ってお店に行きますか？
（買い物10回のうち、マイバッグを持って行く回数）
10回のうち _____ 回くらい
- Q7 あなたは、いつも買い物に行くお店がレジ袋を有料にしたらどうしますか？
（1つのみに○）
① 買った商品を入れる袋（マイバッグ）などを持って、いつものお店に行く
② いつものお店に行き、お金を支払ってレジ袋を買う
③ レジ袋が無料のお店に行く
- Q8 あなたは、レジ袋が有料になった場合、一番大きいレジ袋が1枚あたりいくらだと、
マイバッグを持って買い物に行くようにしますか？（1つのみに○）
① いつも持っていく ② 3円 ③ 5円 ④ 10円
⑤ 20円 ⑥その他 _____円 ⑦値段に関係なく持っていかない
- Q9 すでにレジ袋を有料にしているお店がありますが、どう思いますか？（1つのみに○）
① 賛成 ② 仕方ない ③ 反対
- Q10 買い物のときにマイバッグを持ってお店に行く人を増やすためには、どうすればよい
と思いますか？（1つのみに○）
① ポイントをつける ② 値引きをする ③ レジ袋を有料にする
④ その他（ _____ ）

ご協力ありがとうございました。



岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

**平成25年度「おかやま・もったいない運動推進大会」
(第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラム) 実施要領 (案)**

1 趣 旨

県では、平成18年度から、循環型社会の形成に向けた3R（「ごみを減らす（リデュース）」、「再使用する（リユース）」、「再生利用する（リサイクル）」）の取組みを全体的に推進するため、「おかやま・もったいない運動」を実施しています。
つきましては、3Rの取組みに向けた県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、今年度も引き続きおかやま・もったいない晴れの国フォーラムを開催します。

2 日 時 平成25年10月26日（土）10：00～17：00

3 場 所 岡山コンベンションセンター 1階イベントホール
(岡山市北区駅元町14-1)

4 参加者 環境おかやま大賞受賞者、ポスター及びコンテスト、マイバッグ入賞者、環境団体、経済産業団体、行政・教育機関、県民等 約2千人

5 主 催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、岡山県環境保全事業団

6 後 援

岡山県教育委員会、環境省中国四国地方環境事務所、岡山県環境衛生協会、岡山県産業廃棄物協会、岡山県消費生活問題研究協議会、岡山県婦人協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業団体中央会、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、山陽新聞社

7 内 容 (予定)

1) 開会挨拶 [10:00～10:30]

2) 表彰式 [11:00～14:00]

- ・環境おかやま大賞
(表 彰) 4部門 部門ごとに個人と団体を表彰
- ・おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール
(表 彰) 岡山県知事賞 各学年1名
岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞 各学年1名
岡山県環境文化部長賞（もったいない・3R・ごみ減量化部門）各部門各学年1名
優秀賞 各学年5名
- ・おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト
(表 彰) 最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名
- ・おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト
(表 彰) 最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名

3) 発 表 [14:00～15:00]

- ・環境おかやま大賞、ポスター及びコンテスト、マイバッグ受賞者等による発表

4) 講演・イベント等 [15:00～17:00]

- ・知名度があつて多くの来場者が呼び込め、かつ、環境関係をテーマに講演ができる人を選定する。
- ・表彰の関係から、来場者には小学生及びその関係者が多いことも考慮のうえ、小学生でも理解でき、楽しみながら聞くことのできる講演内容を依頼する。
(例：絵本作家、料理研究家、地域で環境分野において活躍されている方等)

5) 展示コーナー [13:00～16:00]

展示コーナーについては、当大会のポスター、チラシ、パンフレットの他、国や全国自治体、関係団体等の取組を紹介したパネルや製品、著書の展示、岡山県の特産物やマイバッグの展示など

平成25年度「おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール」

募 集 要 領 （ 案 ）

1 趣 旨

私たちは、多くの「もの」を消費し、とても便利で快適な暮らしをしています。しかし、この便利で快適な暮らしは、貴重な資源を消費するだけでなく、たくさんの「ごみ」を生み出しており、環境への二重の負担の上に成り立っています。

限りある資源を大切に使い、環境を守るためには、私たちの暮らしの中で「もったいない」の精神の下、できるだけごみを出さずに再利用して、環境にやさしい暮らしに変えていかなければなりません。

そこで、岡山県では、もったいない精神の普及、3 R（リデュース（ごみを元から減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再利用する））に対する意識の高揚、マイバッグの普及拡大を図るため、次のとおりポスター（絵画）を募集します。

2 主 催 岡山県

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

3 応募資格 県内の小学生（全学年が対象です。）

4 応募内容 ごみの減量化など「もったいない」を推進するポスター（絵画）
※テーマは別紙を参考にしてください。

5 制作方法 用紙の大きさは四つ切り画用紙で、色彩は自由ですが、以下の点に注意してください。

※1・2年生 絵画（字句を書き入れないでください。）

3年生以上 ポスター（内容にふさわしい呼びかけの言葉を入れてください。
書体は自由です。）

※立体性のある作品（糊等を使用し貼り付けたもの）は対象外とします。

6 応募方法

・応募票（別紙）に、学校名、学年、氏名（ふりがな）、性別及び指導教諭名を記入し、作品の裏面にはがれないように貼り付けてください。

・作品は学校ごとにまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。

・応募作品は1人1点、未発表のものとしてください。

7 応募締切 平成25年9月9日（月曜日）〔必着〕

8 応募先 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
岡山県 環境文化部 循環型社会推進課内
おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール 係
(TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271)

9 発 表 平成25年10月予定

10 審 査 主催者が委嘱した審査員により審査します。

11 表 彰 3部門（①低学年（1・2年生）の部、②中学年（3・4年生）の部、③高学年（5・6年生）の部）ごとに、次のとおり入賞作品を決め、賞状及び副賞を贈呈します。

表彰式：おかやま・もったいない晴れの国フォーラム

（10月26日（土）、岡山コンベンションセンターで開催予定）

展 示：表彰式会場のほか、県内2箇所で開催予定

岡山県知事賞	各部門1点
岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞(マイバッグ部門)	各部門1点
岡山県環境文化部長賞（もったいない部門）	各部門1点
岡山県環境文化部長賞（3R部門）	各部門1点
岡山県環境文化部長賞（ごみ減量化部門）	各部門1点
優秀賞	各部門5点

12 その他 応募作品は返却できません。
応募作品に関する一切の権利は、主催者に帰属します。
応募者全員に参加賞を贈ります。

平成25年度「おかやま・もったいない！ 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」募集要領（案）

1 趣 旨

県では、循環型社会の形成に向けた3R（「ごみを減らす（リデュース）」、「再使用する（リユース）」、「再生利用する（リサイクル）」）の取組を進めるため、平成18年度から、「おかやま・もったいない運動」を実施しています。

つきましては、県内の小学生を対象に、家庭でできる「3R（ごみの減量化等）」や「地球温暖化防止」に向けた取組を行う「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」を開催しますので、積極的な御参加をお待ちしています。

2 実施主体

主催：岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

後援：岡山県教育委員会、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団

3 対象者（もったいないチャレンジャー）

県内に住んでいる小学生と御家族

4 取組内容

夏休み期間中、小学生とご家族が一緒になって、「3R（ごみの減量化等）」や「温暖化防止」に向けた取組にチャレンジしていただきます。

A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組

B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

5 取組期間

夏休み期間中の1週間以上

6 応募方法

- ・取組に当たっては、事前に応募していただく必要はありません。御家庭で都合のつく期間を決めて取り組んでください。
- ・取り組んだ結果については、別紙「おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト報告用紙」に御記入の上、8の提出先に郵送してください。
- ・報告書を郵送する際に、取組の様子がわかる写真や、取組の実績が確認できる資料などをできるだけ添付してください。
- ・クラスなどでまとめて郵送される場合は、代表者（クラス担任など、連絡窓口となられる方）の氏名、連絡先、電話番号を明記の上、一括して郵送してください。

<報告用紙の配付先>

- ・県内の全小学校に事前に配付します。（クラス単位で取り組んでいただくなど、多数の参加者が見込まれる場合は、御希望によりまとめて必要部数を送付します。）
- ・循環型社会推進課ホームページからもダウンロードできます。

・課ホームページ： <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30>

（県庁ホームページ > 組織で探す > 環境文化部 > 循環型社会推進課）

7 応募締切 平成25年9月9日(月)〔必着〕

8 応募先・問合せ先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県環境文化部循環型社会推進課内

「おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」あて

・電話 : 086-226-7306 FAX : 086-224-2271

・ホームページ : <http://www.pref.okayama.jp/sosiki/30>

(県庁ホームページ > 組織で探す > 環境文化部 > 循環型社会推進課)

9 選考方法

選考委員会において、報告書などを審査基準に基づき審査の上、「ごみゼロ」・「温暖化防止」に向けて優秀な取組をされた「もったいないチャレンジャー」を決定します。

10 表彰内容

(個人の部)

・最優秀賞	1名	表彰状・副賞
・優秀賞	5名	表彰状・副賞
・努力賞	10名	表彰状・副賞

(団体の部)

・最優秀賞	1学校	表彰状・副賞
・優秀賞	若干	表彰状・副賞

11 表彰方法

受賞者に連絡するほか、記者発表を行います。

また、おかやま・もったいない晴れの国フォーラム(10月26日(土)、岡山コンベンションセンターで開催予定)において、表彰式を行います。

12 応募作品の取扱い

応募作品(提出いただいた報告書など)については、岡山県で管理するとともに、もったいない県民運動、ごみの減量化や温暖化防止、環境美化などの普及啓発に広く活用します。

また、入賞作品などを使用する際に、児童の氏名、小学校名、学年を発表することがあります。

なお、応募作品の一切の権利は、主催者に属し、作品は返却しませんので御了承ください。

13 その他

当コンテストに参加してくれた「もったいないチャレンジャー」全員に、記念品を送付します。

平成25年度「おかやま・もったいない！ 手作りマイバッグコンテスト」募集要領（案）

- 1 趣 旨

県では、循環型社会の形成に向けた3R（「ごみを減らす（リデュース）」、「再使用する（リユース）」、「再生利用する（リサイクル）」）の取組を進めるため、平成18年度から、「おかやま・もったいない運動」を実施するとともに、家庭ごみを削減する取組のひとつとして、また県民一人ひとりが自らの生活を環境にやさしいエコ・ライフスタイルへと見直す「きっかけ」とするため、レジ袋をもらわないマイバッグ運動を推進しています。

マイバッグのデザインを考案することで、マイバッグ運動の趣旨を理解していただき、この運動への関心を高め、実践していただくため、県内の小中学校及び高校、一般県民を対象に、「おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト」を開催しますので、積極的な御参加をお待ちしています。
- 2 主 催 岡山県
岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
- 3 応募資格 小・中学生の部：県内に住んでいる小中学生
高校生・一般の部：県内に住んでいる高校生及び一般県民
- 4 応募内容 不要品を使用するなど、「もったいない」精神を元に手作りしたマイバッグ作品
- 5 応募方法 応募票（別紙）に、学校名又は職業、学年又は年齢、氏名（ふりがな）、性別等を記入し、作品にはがれないように貼り付けてください。
小・中学生、高校生の方は、作品を学校ごとにまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。
応募作品は1人1点、未発表のものとしてください。
- 7 応募締切 平成25年9月9日（月曜日）〔必着〕
- 8 応募先 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
岡山県 環境文化部 循環型社会推進課内
おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト 係
(TEL 086-226-7306 FAX 086-224-2271)
- 9 発 表 平成25年10月予定
- 10 審 査 主催者が委嘱した審査員により審査します。
- 11 表 彰 2部門（①小・中学生の部、②高校・一般の部）ごとに、次のとおり入賞作品を決め、賞状及び副賞を贈呈します。

最優秀賞	1名	表彰状・副賞
優秀賞	5名	表彰状・副賞
努力賞	10名	表彰状・副賞

10月26日（土）、岡山コンベンションセンターで開催予定のおかやま・もったいない晴れの国フォーラムにて、表彰式を行います。
- 12 その他 応募作品は返却できません。
入賞作品などを使用する際に、児童の氏名、小学校名、学年を発表することがあります。
応募作品に関する一切の権利は、主催者に帰属します。
応募者全員に参加賞を贈ります。

